

1. 件 名：新規制基準適合性審査に関する事業者ヒアリング（泊3号炉）
（465）
2. 日 時：令和5年3月6日 14時05分～14時15分
3. 場 所：原子力規制庁 8階A会議室（一部TV会議システムを利用）
4. 出席者：（※ TV会議システムによる出席）

原子力規制庁：

（新基準適合性審査チーム）

天野安全管理調査官、宮本上席安全審査官、藤原主任安全審査官、
秋本安全審査官、小野安全審査官

北海道電力株式会社：

原子力事業統括部 部長（審査・運営管理担当）、他6名

原子力事業統括部 部長（安全技術担当）※、他8名※

5. 自動文字起こし結果

別紙のとおり

※音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

なお、本面談については、事業者からオンラインでの面談開催の希望があったため、「緊急事態宣言解除を踏まえた原子力規制委員会の対応について」（令和4年3月9日 第70回原子力規制委員会配付資料）に基づき、オンラインで実施した。

6. その他

提出資料：

- （1）泊発電所3号炉 残されている審査上の論点とその作業方針および作業スケジュールについて
- （2）泊発電所3号炉 DB/SA/BF 審査資料の説明状況

以上

時間	自動文字起こし結果
0:00:00	はい原子炉規制庁の宮本です。それではヒアリングの方開始したいと思います。今回ヒアリングは残されてる審査上の論点のその作業方針及び作業スケジュールについてです。説明の方よろしくをお願いします。
0:00:14	はい。北海道電力の金岡です。
0:00:16	それでは資料の1を用いまして説明させていただきます。
0:00:22	こちら、本文と作業方針作業状況につきましては、更新してるページが14ページになります。
0:00:31	14ページのところでは通しナンバー2番の基準地震動について整理終了としていたところを2月24日の審査会合を踏まえまして、整理中に見直しでございます。
0:00:43	もう1ヶ所は29ページのところになります。
0:00:46	29ページにつきましては、BSバックフィットに関わる項目ですがけれども、こちらの作業状況のところ、火山に関する項目を追加した後は説明を追加したそういった趣旨のことを反映してございます。
0:01:04	続きましてスケジュールの方をご覧ください。31ページになります。
0:01:11	こちら、通しナンバーの2番と3番、基準地震動に関わる項目ですがけれども、2月24日の審査会合を踏まえまして約2ヶ月スライドするという見直しを行ってございます。
0:01:23	また、通しナンバーの7番、基準津波の潮流に関わる項目ですがけれども、
0:01:29	3月6日の週、今週に星印の審査会合時期振ってますけれども、現時点では調整中でちょっと時期も未定ですので、
0:01:40	ここは吹き出しで調整中というような形で、見直しをさせていただきたいと思います。
0:01:48	続きまして、32ページをご覧ください。
0:01:54	こちらは、通しナンバー15番です。火山の降下火砕物の層厚評価に関わる項目です。
0:02:02	こちらについては、6月末の1回目の資料提出と11月上旬の審査が、説明を完了する審査会合時期こちらに、
0:02:13	外側に繋がる関連性を追加してございます。
0:02:16	あと通しナンバーの18番が、地盤斜面の安定性について基準地震動のスライドと連動して約2ヶ月、スライドしてございます。33ページをご覧ください。
0:02:31	通しナンバー21番です。耐震設計方針に関わる項目です。

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:02:36	こちらは基準地震動の〇〇工程を踏まえまして、約1.5ヶ月スライドをしてございます。
0:02:46	作業に先行着手するなどの工程短縮に努めているというような項目となっております。
0:02:55	あとは通しナンバー22番。防潮てに関わる設計方針のところなのですが、審査の説明期間インターバルが長くなっておりますので、4月と5月のところに、
0:03:08	追加的に説明するものとして、アンカーボルトの性能試験の状況というものを追加してございます。
0:03:15	34ページをご覧ください。
0:03:22	吹き出しで説明している部分ですけれども、記載を適正化しているところがございます。あとは工程場といたしましては地震のPRAのところなのですが、
0:03:35	基準地震動のスライドに伴いまして、こちら連動してスライドしてございます。
0:03:40	緑広底盤の一番上のところにデービー6条の火山灰層厚粒径再評価結果でございますけれども、
0:03:49	こちらハザード側の火山の工程と関連性をつなげましてスケジュールを明確化してございます。クリティカルパスの周期に近づいているような項目ですので今回、
0:04:02	そういったものも表示するというようなことで見直しを行ってございます。
0:04:07	衛藤最後35ページにつきましては、築地に関わる情報を更新してございます。
0:04:14	続きまして資料の2番をご覧ください。資料の2番が審査の説明状況に関わる資料でございます。
0:04:23	全体的に情報を更新しているのと、あとは真ん中辺の数字に関わる情報ですね。次の回正直、
0:04:33	いいですけれども地すべりの影響評価が、
0:04:36	3月だったものが今回4月に作業進捗から見直しを行ってございます。
0:04:46	あとは、
0:04:49	前回2月の28日の審査会合を行ったようなものですけれども開校会合の指摘事項回答予定を一番右側にステイとして記載してございますが、
0:05:02	最後

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:05:04	2023年5月の会合でまでには指摘事項を回答するというようなことで記載しております。課題の検討を行っておりますので、
0:05:16	これよりも前に回答できるようなものはその都度見直していきたいと考えてございます。説明は以上となります。
0:05:26	はい。ありがとうございました。じゃあ、私の方から確認です。
0:05:34	プラント側としては、BS側大分全体的にSAと実績が積まれてきて、
0:05:42	それとは別に33ページの耐震の方、設工認等の手法の整理ということで、今後これからやっていかなければいけないということになっていきます。それを踏まえると、
0:06:02	26ページからの作業方針のところには、耐震設計のところは、最新の考え方を踏まえて、
0:06:09	修正が必要だという認識でいいでしょうか。
0:06:16	はい。北海道電力の金岡です。
0:06:19	26ページ、作業方針のところ、対比に関わるような作業方針ですけども、
0:06:27	今回のスケジュール、の見直しに伴いまして、
0:06:37	先行的に着手できるようなもの、作業方針が固まったものから説明をしていくというような作業方針に今後見直していきたいと思えます。以上です。
0:06:51	いや、要は、事前に論点を抽出した上で進めていくっていう方針になったという実績でいいですよ。
0:07:01	はい。北海道電力の金岡です。はい。論点を抽出して進めていくというご認識で
0:07:08	の通りでございます。以上です。資料の方は適正化してください。あとちょっともう1点だけ私、確認なんだけど、一番最後の方でかかった地すべりの影響のところ、
0:07:19	12条に地すべりが入ったのはこれ、どういう意図でしたっけ。
0:07:35	北海道電力村山です。12条安全施設の
0:07:39	地すべりの影響としましては、
0:07:43	基準適合に係る説明の資料で、
0:07:53	自然事象の
0:07:55	記載をする箇所がありまして、そこに1ヶ所水準の箇所がありますそれを
0:08:05	地すべりの影響の結果が出たらもうそれを、

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:08:09	ただ反映するような箇所です。何か検討が特別出てくるような箇所では ございません。
0:08:16	規制庁宮です。わかりましたそういう意図であれば了解です。はい。私 は以上です。他何かあればいいです。
0:08:23	お願いします。
0:08:27	なければヒアリングの方を終了したいと思います。ありがとうございます。

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。
発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。